

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年7月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	木材・木製品	製材業（プレカット）	7月の加工坪数は先月よりはいくらか改善したが、相変わらず前年比では70%と低水準で推移している状況であった。県内だけでなく県外の競合他社も含めて、顧客争奪戦が激化している。着工数が減っている中、顧客となるビルダーは、少しでも仕入価格を下げる努力をしており、長年の付き合いよりも少しでも安い業者から仕入れる傾向があり、地場優位性が低くなっていることが、県外の競合他社の参入を後押ししている感もある。
	木材・木製品	木製品製造業	住宅関係の資材の高騰や人件費、人材不足などによる売上数の伸び悩みなどがあり、下請けなどにも影響を与えている。
	印刷	印刷・同関連業	印刷オペレーターの募集をしたところ、幸いにして2名の方の応募があり、現在体験中である。どちらも中途採用だが経験がないので、一から勉強してもらう。印刷の仕事の良さを理解してもらえるよう指導していく。
	印刷	印刷・同関連業	先月、九州地区の会合があったが、ほぼ全県同様に動向が芳しくないようだ。宮崎県内でも異業種に参画するなど、収益の確保を優先した業態変革を行っている事業所もあり、見習っていかねばならないと思う。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	7月出荷数量は、昨年同月比137%となった。ただし、今年度累計出荷量では昨年対比92%となり、依然需要は低迷している。また、来年4月より、大手各社セメントメーカーが値上げを発表している。需要の低迷と同時に原材料の高騰が続いており、組合員にとって厳しい経営状況は変わらない。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	昨年の同月と比較すると、出荷数量が115%と好調に推移しているが、その数字が徐々に下降してきている。繰越し物件の出荷が落ち着き始めているためであろう。来月から心配である。今後の官公需の発注状況を注視していきたい。
非製造業	小売業	機械器具小売業	中古車市場においては、メーカーの出荷停止などを受け、新車の納車が大幅に遅れることが中古車の在庫減少に繋がり、その影響を大きく受けた。新車の納車が遅れるということは、下取りに入ってくる予定の中古車も入る時期が遅れるということであり、また、急遽、車が必要なユーザーは新車ではなく、すぐ手に入る中古車を求めるが、在庫が少ない中での購入となる。中古車の仕入れ値は高騰し、各組合員からは、玉不足という言葉が聞かれるところとなった。新車の納期が早まる事が解決の一手となる。
	小売業	LPGガス小売販売業	7月合成CP価格(サウジ通告価格)は580.0ドル/トン(前月比±0ドル/トン)。6月MBB価格(米国産平均価格)+(物流経費87ドル/トン)は482ドル/トン(前月比+33.0ドル/トン)。対顧客電信売相場(6月平均)は158.89円/ドル(前月比+1.64円/ドル)。月間を通じ原油価格及び米国産LPGガス価格は若干上昇したが、サウジ通告価格は変わらず。月末為替平均は昨年12月より円安が進み、輸入品を取り扱う業種にとっては非常に厳しい状況が続いている。
	商店街	宮崎市	連日の猛暑の影響で、来店客数の大幅な減少が続いている。橋通りの人通りの数も非常に少ない。
	商店街	都城市	梅雨が明け、気温が一気に上がり、日中の温度が30度を超える日々の中、光熱費の高騰による出費がかさなって厳しい店舗が多かったと思う。イベントも毎週末なにかあり、人出もそれなりに多かった月であった。
	サービス業	観光業	昨年7月と比べると5割ほど売上が下がっている。物価上昇により余暇への出し渋りが進んでいるものと思われ、観光業界はまた厳しい状況に戻ったように感じる。
	サービス業	自動車整備業	今月は入庫台数が前年比15%増。高齢化で仕事を調整している組合員がいる中での増加には驚いている。
サービス業	自動車車体整備業	塗料や自動車部品の値上げが続いている。	

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	自動車運転代行業	7月は新型コロナの流行により、繁華街では人流が減少したことにより、運転代行の需要も減少した。
建設業	管工事業	今期の公共工事（管工事）の発注状況の現状は、順調である。
建設業	管工事業	工事発注物件数に対して、人手不足・人材確保の問題から、工事の受注に影響が出てきている。
運輸業	軽貨物運送業	7月度は、以前からすると荷動きが停滞した状態で推移している。諸物価及び燃料代等の値上がり等が影響しているように思う。運賃関係も値上げ交渉はするものの改善することが厳しい環境だ。組合員の高齢化も深刻で、廃業する組合員も徐々に増えてきた。新規開業者を増員したいが、面接の問い合わせすらないのが現状である。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、中東勢への警戒感に加え、米国の石油在庫の減少や米労働省労働統計局が発表した失業率が前月から上昇しているなど、指標が悪化していることから、9月に政策金利の引き下げに踏み切るとの見方が高まったことで上昇し、それに伴い国内市場価格も値上げが見込まれており、組合員は先の見通しに暗雲が立ち込めている。